

青森新都市病院 地域医療連携だより

KADERU (かでの)

KADERU

INFORMATION FROM YUSHINKAI
AOMORISHINTOSHI HOSPITAL

2019年7月号

Vol. 5



撮影 狩野利夫

Contents

- 「定位放射線照射」脳神経外科部長 羽入 紀朋
- 医療・健康セミナー
- 施設のご紹介 <阿部レディースクリニック>
- 部署のご紹介 <臨床工学科>
- 青森新都市病院トピックス



医療法人雄心会 青森新都市病院 ホームページ <http://aomorishintoshi-hp.yushinkai.jp/>
〒038-0003 青森市石江3丁目1番地 代表電話 017(757)8750 / FAX 017(788)9901

患者支援センター 直通電話 017(757)8785 / FAX 017(788)9902

定位放射線照射～頭蓋内病変について～

定位放射線照射は、病巣に対して多方向から放射線を集中させ周囲の正常組織の線量を極力減少させることで、病変への十分な照射と正常組織の放射線合併症を低減することが可能な照射方法です。低侵襲で痛みなどの苦痛を伴わず、より短期間での治療が可能です。当院では最新の放射線治療装置である Varian 社の TrueBeam と BrainLab 社の ExacTrac を組み合わせた画像誘導放射線治療システムで運用しています。これらのシステムにより、1 ミリ未満のレベルまで精度を高めることができます。

対象となる疾患は、転移性脳腫瘍や髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腫瘍などの良性腫瘍と血管奇形等です。転移性脳腫瘍は、従来のシステムでは4病変程度までの治療にとどまっていたですが、最新の治療計画ソフトウェアと上記システムの組み合わせで、10カ所前後の病変でも一度に治療することが可能になっています。また、1回照射（定位手術的照射；SRS）では対応困難な比較的大きな病変は、（寡）分割照射（定位放射線治療；SRT）とすることでより安全に治療が可能です。

患者さんのパフォーマンスや疾患に応じて、より良い治療法（放射線治療、手術またはその組み合わせ）を提供してまいりますので是非ご紹介をお願いいたします。



青森新都市病院 脳神経外科部長 羽入 紀朋

第1回医療・健康セミナー

5月23日に今年度第1回医療・健康セミナーを開催いたしました。今回のセミナーは当院の非常勤医師（こにし内科・心臓血管クリニック院長）の小西 宏明先生に「青森新都市病院レーザー治療1年の歩み」というテーマでご講演いただきました。

セミナーでは下肢静脈瘤の症状、原因、治療法、レーザー治療、当院での診療・手術の流れ、1年間の実績等について説明がありました。静脈瘤は、静脈にある弁が加齢、肥満、立ち仕事や妊娠等の要因で壊れたり変形すると血液の逆流が起き、血管の過膨張状態になることで起きること。治療としては、静脈瘤になっている血管への血流遮断するために患者さまの症状により4つの方法があるが、当院ではレーザーによる焼灼術を中心に行っていること。この1年間5月から4月で57例の手術が行われたが、副作用もほとんどなく安全に行われていること。レーザー治療は2011年から健康保険の適応となっている最新の治療法であることなど詳細にお話をいただきました。アンケートでも非常にわかりやすかったなどの声が多数寄せられました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



市民公開講座 を開催いたします！

7月24日（水）15：00～17：00

次の3部構成で行います。

第1部：「形成外科が治す病気やケガとは？」

北海道大学大学院 医学研究科・医学部 機能再生医学講座 形成外科学分野 主任教授 山本有平 氏

第2部：「生まれつきの顔や頭の変形とその治療」

福島県立医科大学 形成外科学講座 教授 小山明彦 氏

第3部：「皮膚癌って何？」

神戸大学大学院 医学研究科 形成外科学 教授 寺師浩人 氏

※事前申込制 先着 120名

お電話で「市民公開講座の件で」とお伝えください。

施設のご紹介 — 阿部レディースクリニック —



この度、弘前大学産婦人科教室講師の職を辞し、ご縁があって青森市石江に婦人科クリニックを開業（6月3日開院）いたしました阿部和弘と申します。

大学在職時代は、女性ヘルスケアを専門に診療を行っておりました。女性ヘルスケアというと余り馴染みがないかもしれません。以前、この分野は更年期女性の患者さんを対象にした分野でした。しかし、更年期を対象にするだけでは、更年期には無症状で、実は発症しており、老年

期に骨折し、その後寝たきりになってしまう骨粗鬆症、妊娠時に妊娠糖尿病や妊娠高血圧症候群を発症し分娩後は正常になるが、更年期には無症状なまま実は発症している高血圧、糖尿病。この疾患群の発症の転帰から更年期だけ診るのではなく思春期から老年期に至る全ての女性の健康管理を行う部門が女性ヘルスケアという診療科です。

当院は女性ヘルスケア専門医の立場から地域女性の方々の健康管理の一旦を担えるよう日々精進を重ね信頼を得るよう努力して参ります。何卒よろしくお願ひ致します。



病院長 阿部 和弘



〒038-0003 青森県青森市石江字江渡 73-3

阿部レディースクリニック 電話 017 (781) 7887

部署のご紹介 臨床工学科

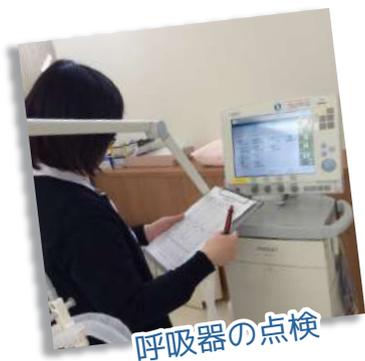


はじめまして、青森新都市病院 臨床工学科です。

当院の臨床工学科には現在、3名の臨床工学技士（以下ME：Medical Engineer）が在籍しています。まだまだマイナーなMEですが、臨床放射線技師や臨床検査技師と同じ医療技術職であり、国家資格です。

メインの業務は医療機器の保守点検です。点検・清掃を徹底することにより、医療事故や院内感染の予防に役立っています。手術前の麻酔器の点検や、人工呼吸器の組み立て、管理等も業務の一つとなります。また、医療機器の安全な取り扱いを全スタッフが行えるように、定期的に講習会を行っています。臨床業務では血液透析、腹水ろ過再静注法を行っています。

今後はニーズに合わせ、様々なアフエレーシス（血液浄化）療法を行いたいと考えています。医学、工学の両面から地域医療に貢献します。宜しくお願いいたします。



健康教室

今年度第1回健康教室を5月29日に開催しました。健康教室は、リハビリテーション科が地域住民の方を対象に2018年から約2カ月に1度の頻度で開催しています。これまでに、認知症・糖尿病・脳卒中・転倒など様々なテーマでその予防法について軽い運動を交えて行ってきました。

今回は「歩く」がテーマで、健康的な歩き方を考えてみようというものでした。参加した方々のアンケートには「歩き方の正しい知識を身につけられた」「正しい姿勢で歩くことがいかに大事か確認できた」などたくさんの感想が寄せられました。

次回は7月31日(水)

13:00～15:00に

『腰痛』の教室』を

開催します。



うまい森青いもりフェア

東奥日報主催「うまい森 青いもりフェア」が5月18・19日にアスパムで開催され、当院も健康チェックブースを設け参加しました。会場には体成分分析・血管年齢・骨密度などの機器を設置し実施しました。測定結果をもとに看護師から健康管理のアドバイスをを行いました。葉、日常の食事内容、病気に関すること等様々な相談を受け盛会の中で終わりました。

当院では、今後も健康管理に関する機会を積極的に設けていきたいと思えます。次回の7月27・28日も参加します。



新採用職員歓迎会

5月10日に新採用職員歓迎会をホテルアラスカにて開催いたしました。はじめに伊藤理事長が挨拶をされ、続いて片山総長兼院長の挨拶を兼ねた乾杯で歓迎会がスタートしました。おいしい料理に舌鼓を打ちながらお酒もすすみ、場も和んだところで脳外科の梅森主任部長による新任医師の紹介、続いて各所属長による新入職員の紹介が行われました。今年度は26名の新入職員が新たに我々の仲間となりました。皆さん食べて飲んで大盛り上がりでした。最後は金子本部長の挨拶で歓迎会の幕を閉じました。

今年度も新しい仲間を多数迎え、気持ちを新たに一丸となって突き進んでいきます！



新人懇親会

2週間のオリエンテーション研修が終了し、4月13日に親睦と慰労を兼ねた新人懇親会が開催され、今後の目標や熱い夢を語り合いました。これからは同期としてお互いに助け合いながらも切磋琢磨し仕事を頑張りたいと思えます！

編集後記

雨と湿気、洗濯物の乾燥が気になる梅雨の季節になり体調管理も必要な時期かと思えます。通勤途中の花壇では、初夏のハーブと言われる濃いブルーのラベンダーが咲き始め心癒やされ、花言葉は多く、香りも強いので効果や効能から名付けられているようです。私は自宅にあるドライフラワーで個人的リラックス感を得ています。(N・F)

地域連携だより「KADERU」
編集顧問 片山容一・末綱太